川根本町の皆さん ありがとうございました

地域おこし協力隊（川根高校魅力化コーディネーター）として活動する伊神花織さんが、令和6年2月16日をもって任期満了となりました。

川根高校生と地域の皆様に支えられながらたくさんの繋がりの中で、新しい発見、気づきなど多くの経験をさせていただきました。

Interview

地域住民や高校生との交流を通して、4年間を振り返り心情の変化はありましたか。

最低限、生活するだけならどうとでもできるんじゃないかという自信がついたことです。（楽観視ではなく！）今までも、仕事自体に誇りとやりがいを持って働いていましたが、生活するために働くことは必須で、大前提でした。でも川根にきて、そんなに一生懸命働かなくてものんびり生きていけるんじゃないかとか、自分が生活に必要としていた金銭バランスとか、そういったことが大きく変わったと感じています。今までもたくさんの友人や人間関係がありましたが、いかに、自分に近い思考の人を選んで付き合ってきたのかなと、振り返りました。

地域の方や高校生との出会いには、そこに選択権はありませんでした（笑）。否応なしに、今まで私が知らない考え方や、常識をもった様々な人・生徒と出会いました。だからこそ私の考えていた常識が変化し、ざっくり言えば「案外、どうとでも生きていけるんだよな」と気づかされました。

任期満了を経て「川根本町」という町に感じる想いは？

「川根本町」の最初の印象は、山の圧迫感すごい！星空が綺麗！茶畑が美しい！でした。でもこの地を離れる日が近くなるにつれ、この町の景色を懐かしく思う日が来ることに少し淋しさを感じます。この景色がいつまでも続きますようにと思っています。

川根高校生に向けてメッセージを一言お願いいたします。

みんなに対して、何ができたかは、正直分かりません。私の自己満足だったのではと思うことも、たくさんあります。私のこと自体は忘れてくれてもよいので、ただいつか、自分の高校生活が、案外楽しいものだったと思えるものになってくれていればいいと願っています。そうやって、高校生活の時間を思い出したり、語ったりしてくれるのがうれしいし、私の成果だと思っています！

◀2月16日（金）役場本庁で令和5年度地域おこし協力隊報告会が開催されました。

伊神さんは川根高校の魅力化コーディネーターを務め、その活動について、①学校内外の魅力づくり②学校の活動・魅力の発信③生徒募集の取組④生徒とのコミュニケーションについて報告しました。①ではエコパークツアーや生徒の個人研究の補助、企業や大学、小中学校と連携した取組について。②③④ではSNSを利用した学校の魅力発信やオープンチャットを使用した外部サポーターと生徒の交流について発表されました。

報告会を受け、薗田町長は「地域と小中高生との連携をどうするか悩んでいる中、伊神さんが地域振興の担い手となってくれたことに感謝している。任期とコロナが重なり大変でしたが経験されたことは必ず糧になる。今後の活動に役立てていただきたい」と激励しました。

発行：川根本町　編集：デジタル推進課 デジタル推進室
住所：〒428-0313 静岡県榛原郡川根本町上長尾627
☎0547(56)2232　広報かわねほんちょうは、再生紙を使用しています。

広報かわねほんちょうでは、おたよりなどお待ちしています。
町に関すること、広報に関すること、何でも気軽にお寄せください。
FAX(56)2235　役場デジタル推進課デジタル推進室までどうぞ

UD FONT by MORISAWA